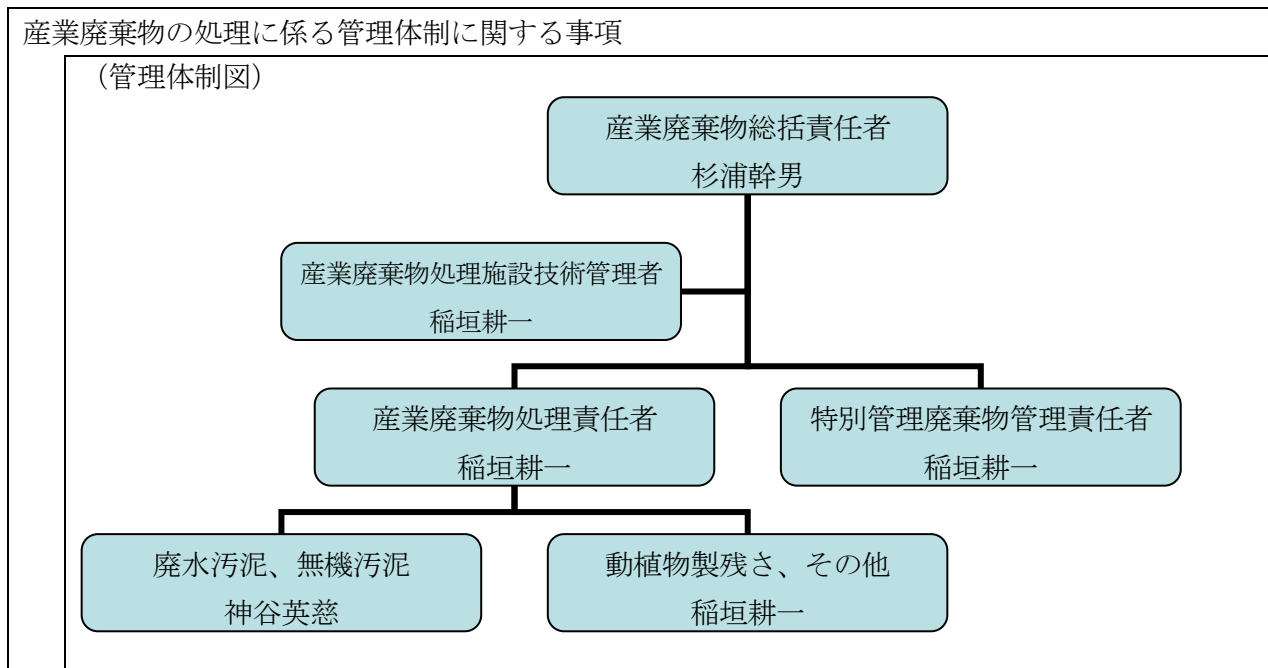


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書																			
平成24年 6月 22日																			
愛知県知事 殿																			
提出者																			
住 所 安城市昭和町19番10号																			
氏 名 新日本化学工業株式会社 代表取締役 中村 哲久 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)																			
電話番号 0566-76-5171																			
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>																			
事業場の名称	新日本化学工業株式会社																		
事業場の所在地	愛知県安城市昭和町19番10号																		
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日																		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																			
①事業の種類	32：その他の製造業																		
②事業の規模	409000万円																		
③従業員数	111人																		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="0"> <tr> <td>有機汚泥（廃水汚泥）</td> <td>発酵処理委託</td> <td>肥料として再利用</td> </tr> <tr> <td>無機汚泥</td> <td>埋立て処分委託</td> <td></td> </tr> <tr> <td>動植物性残さ</td> <td>発酵処理委託</td> <td>肥料として再利用</td> </tr> <tr> <td>混合物</td> <td>選別委託</td> <td>焼却、埋立て処分</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>焼却、埋立て処分委託</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス、コンクリート、陶磁器屑</td> <td>埋立て処分委託</td> <td></td> </tr> </table>	有機汚泥（廃水汚泥）	発酵処理委託	肥料として再利用	無機汚泥	埋立て処分委託		動植物性残さ	発酵処理委託	肥料として再利用	混合物	選別委託	焼却、埋立て処分	廃プラ	焼却、埋立て処分委託		ガラス、コンクリート、陶磁器屑	埋立て処分委託	
有機汚泥（廃水汚泥）	発酵処理委託	肥料として再利用																	
無機汚泥	埋立て処分委託																		
動植物性残さ	発酵処理委託	肥料として再利用																	
混合物	選別委託	焼却、埋立て処分																	
廃プラ	焼却、埋立て処分委託																		
ガラス、コンクリート、陶磁器屑	埋立て処分委託																		

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成 23年度）実績】 別紙①のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	—	—
	(これまでに実施した取組) ・無機汚泥の排出抑制に新精製設備（膜ろ過法）の導入 ・紙類の区分け		
②計画	【目標】 別紙①のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) ・無機汚泥の排出抑制に新精製設備（膜ろ過法）の導入 ・分別の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙類（クラフト袋）を焼却、リサイクルと分別し保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 23年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機汚泥	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1150t	—
	(これまでに実施した取組) 有機汚泥の肥料化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機汚泥	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500t	—
	(今後実施する予定の取組) 自社再利用はコスト高になるので再生委託業者に少しづつ移行する		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 23年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 23年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定ない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 23年度年度）実績】 別紙②のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		

②計画	【目標】 別紙②のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(今後実施する予定の取組) ・エネルギー削減のため動植物性残さの乾燥を極力控え、再生利用の促進を図る。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙①

産業廃棄物の種類	前年度(23年度)実績 t/年	目標(24年度) t/年
汚泥(無機汚泥)	444	400
汚泥(有機汚泥)	2,321	2,400
動植物性残さ	1,535	1,700
混合物	81	75
廃プラスチック	3	3
ガラス、陶磁器屑	1	1
合計	4,385	4,579

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙②

産業廃棄物の種類	前年度(23年度)実績	現状(23年度)			
		優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥(無機汚泥)	444	444	-	-	-
汚泥(有機汚泥)	1,171	-	1,171	-	-
動植物性残さ	1,535	-	1,535	-	-
混合物	81	81	-	-	-
廃プラスチック	3	3	-	-	-
ガラス、陶磁器屑	1	1	-	-	-
合計	3,235	529	2,706	-	-

産業廃棄物の種類	目標(24年度) t/年	目標(24年度)			
		優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥(無機汚泥)	400	400	-	-	-
汚泥(有機汚泥)	1,900	-	1,900	-	-
動植物性残さ	1,700	-	1,700	-	-
混合物	75	75	-	-	-
廃プラスチック	3	3	-	-	-
ガラス、陶磁器屑	1	1	-	-	-
合計	4,079	479	3,600	-	-